

生物種と指標の対応表

補足資料2

■指標の構成

指 標			ID	指標名	指標設定の理由	
動物	レッドリスト	鳥類	01	動物-貴-鳥類	早急な保護対策が必要であると考えられる全国及び埼玉県レベルのレッドリスト対象種を分類群ごとに抽出する。	
		昆虫類	02	動物-貴-昆虫類		
		その他 (鳥類・昆虫類以外)	03	動物-貴-その他		
	哺乳類	アズマモグラ等		04	動物-哺-モグラ類	地下生活者という独特な生態を持っており、土壌の厚さや土壌の水分含量が分布に影響していると考えられる。また、土壌を掘ることによって通気を良くし、排泄物が植物の栄養源となるなど、土壌の肥沃化や植生の維持発達に寄与していると考えられる。よって、哺乳類における特殊性として抽出する。
		外来種		05	動物-哺-外来種	外来種は本来そこにはない存在であり、可能な限り駆除しなければならない。よって、在来種の生息空間を圧迫する存在として抽出する。
		モグラ以外の在来種		06	動物-哺-モグラ類以外	外来種によって在来種の生息空間が減少しているが、それでもなお生息が確認された環境は重要であると考え抽出する。
	鳥類	渡り鳥	夏鳥	07	動物-鳥-渡鳥(夏)	夏鳥は繁殖のために渡ってくる鳥類であり、その利用環境が渡り鳥の繁殖地としての価値を示すものと考えて抽出する。
			冬鳥	08	動物-鳥-渡鳥(冬)	冬鳥は越冬のために渡ってくる鳥類であり、その利用環境が渡り鳥の越冬地としての価値を示すものと考えて抽出する。
		留鳥		09	動物-鳥-留鳥	通年生息し鳥類群集の骨格をなす存在であり、鳥類群集の典型性を示すと考えて抽出する。
		キツツキ類		10	動物-鳥-キツツキ	他種に巣穴を供給し、樹木の分解を促進し、カミキリ類など樹木に被害を与える昆虫を食べ森林を健全に保つ特別な種類であり、鳥類における特殊性として抽出する。
		種子食 昆虫食	昆虫食	11	動物-鳥-昆虫食	典型的な昆虫食の種(エナガ、シジュウカラ等)を二次消費者としての鳥類の利用環境を示すものとして抽出する。
			種子食	12	動物-鳥-種子食	典型的な種子食の種(ツグミ、カシラダカ、カワラヒワ等)を一次消費者としての鳥類の利用環境を示すものとして抽出する。
		水鳥		13	動物-鳥-水鳥	水辺に依存し特異的に出現する種を、特殊性として抽出する。
		爬虫類	外来種以外全種		14	動物-爬-在来種
	両生類	外来種 以外 全種	卵・幼生	15	動物-両-在来種(卵・幼)	両生類(カエル類)は、幼生時代は水中で生活し、成体になってからは陸上で生活するため、卵から幼生時代における生存に必要な環境と成体に必要な環境を別々に評価する必要があると考えて抽出する。
			成体	16	動物-両-在来種(成体)	
	昆虫類	チョウ類	樹林性	17	動物-昆-チョウ(樹林性)	チョウ類の生息環境は大きく、樹林性、林縁性、草地性の3つに分けられるため、それぞれの典型的な分布環境を示すものとして抽出する。
			林縁性	18	動物-昆-チョウ(林縁性)	
			草地性	19	動物-昆-チョウ(草原性)	
		指標昆虫	樹林性	20	動物-昆-その他(樹林性)	昆虫の生息環境は大きく、樹林性、林縁性、草地性の3つに分けられ、それぞれの分布環境を示すために、調査に際してそれぞれの環境に典型的な種を事前に抽出した抽出する。
			林縁性	21	動物-昆-その他(林縁性)	
			草地性	22	動物-昆-その他(草原性)	
		トンボ類	流水性	23	動物-昆-トンボ(流水性)	トンボ類は大きく分けて流水性の種と止水性の種に分けられ、それぞれの異なった環境要求を示すため、別々に抽出する。
			止水性	24	動物-昆-トンボ(止水性)	
水生生物	魚類	河川・水路	25	動物-水-魚(流水性)	淡水魚の主要な生息環境として、河川等の流水環境を利用する魚類を抽出する。	
	魚類	池・水田	26	動物-水-魚(止水性)	産卵など生活環の一時期に水田やクリーク、池を利用するもので、近代化以前の流域生態系を象徴する特殊性として抽出する。	
	魚類	回遊性	27	動物-水-魚(回遊性)	さく河性回遊魚(ウグイ等)、降河性回遊魚(ウナギ等)、両側回遊魚(アユ、ヨシノボリ等)。生活環の一時期を川で過ごすもので、流域生態系を象徴する特殊性として抽出する。	
	魚類	草食性	28	動物-水-魚(草食性)	アユは石礫に付着する藻類を食べる。近代化以前の中流の河川環境を象徴する特殊性として抽出する。	
	魚類	肉食性	29	動物-水-魚(肉食性)	肉食、底生生物(ベントス)の食性を持つ魚。貝類やエビ類などが生息する河床環境を象徴する特殊性として抽出する。	
	十脚目	在来種	30	動物-水-エビカニ類	十脚類が生息する河川環境を象徴する特殊性として抽出する。	
	貝類	在来種	31	動物-水-貝類	貝類が生息する河床環境を象徴する特殊性として抽出する。	
	水生昆虫		32	動物-水-昆虫	水生昆虫の分布環境を示すものとして抽出する。	
植物	レッドリスト		33	植物-レッドリスト	早急な保護対策が必要であると考えられる全国及び埼玉県レベルのレッドリスト対象種を抽出する。	
	注目種		34	植物-注目種	分布的には広く散在するが少ない、県内では絶滅に瀕し少ないなど、園芸採取、管理放棄、自然遷移、土地改変などにより個体数の減少が考えられるラン科の種として抽出する。	

生物種と指標の対応表

補足資料2

[illegible]

生物種と指標の対応表

補足資料2

			01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	
			動物－レ－鳥類	動物－レ－昆虫類	動物－レ－その他	動物－哺－モグラ類	動物－哺－外来種	動物－哺－モグラ類以外	動物－鳥－渡鳥（夏）	動物－鳥－渡鳥（冬）	動物－鳥－留鳥	動物－鳥－鳥－キツツキ	動物－鳥－鳥－昆虫食	動物－鳥－鳥－種子食	動物－鳥－鳥－水鳥	動物－爬－在来種	動物－両－在来種（卵・幼）	動物－両－在来種（成体）	動物－昆－昆虫－チョウ（樹林性）	動物－昆－昆虫－チョウ（林縁性）	動物－昆－昆虫－その他（樹林性）	動物－昆－昆虫－その他（林縁性）	動物－昆－昆虫－その他（草原性）	動物－昆－昆虫－トンボ（流水性）	動物－昆－昆虫－トンボ（止水性）	動物－水－魚（流水性）	動物－水－魚（止水性）	動物－水－魚（回遊性）	動物－水－魚（草食性）	動物－水－魚（肉食性）	動物－水－エビカニ類	動物－水－貝類	動物－水－昆虫	植物－レッドリスト	植物－注目種		
爬虫類	トカゲ	ニホントカゲ			1											1																					
	ナミヘビ	アオダイショウ			1											1																					
	ナミヘビ	シマヘビ														1																					
	ナミヘビ	ヒバカリ			1											1																					
	ナミヘビ	ヤマカガシ			1											1																					
	イシガメ	ニホンイシガメ			1											1																					
	イシガメ	クサガメ														1																					
	ヌマガメ	ミシシッピアカミミガメ																																			
両生類																																					
	アオガエル	アオガエル															1	1																			
	アマガエル	アマガエル															1	1																			
アカガエル	ウシガエル																																				
魚類																																					
	ウナギ	ウナギ			1																						1		1								
	コイ	アブラハヤ																								1				1	1						
	コイ	ウグイ																							1				1	1							
	コイ	オイカワ																							1				1	1							
	コイ	カマツカ																							1					1							
	コイ	カワムツ																							1					1							
	コイ	キンギョ																							1			1	1								
	コイ	キンブナ			1																						1		1	1							
	コイ	ギンブナ																								1		1	1								
	コイ	コイ																								1			1	1							
	コイ	タイリクバラタナゴ																								1				1	1						
	コイ	タナゴ			1																					1				1	1						
	コイ	タモロコ																								1				1	1						
	コイ	ニゴイ																								1				1	1						
	コイ	マルタウグイ			1																					1					1						
	コイ	モツゴ																								1				1	1						
	ドジョウ	シマドジョウ			1																					1				1	1						
	ドジョウ	ドジョウ																									1			1	1						
	アユ	アユ																									1				1	1					
	サケ	サケ			1																						1			1		1					
	サンフィッシュ	オオクチバス																										1				1					
	サンフィッシュ	ブルーギル																									1				1	1					
	スズキ	スズキ																									1			1		1					
	ハゼ	ウキゴリ			1																						1			1		1					
	ハゼ	スミウキゴリ			1																						1			1		1					
	ハゼ	ヌマチチブ																										1	1		1	1					
	ハゼ	マハゼ																										1			1	1					
	ハゼ	ヨシノボリ																													1	1					
	メダカ	メダカ(ヒメダカ)																										1				1	1				
	メダカ	メダカ			1																								1			1	1				
	ギギ	ギバチ			1																							1				1					
	ナマズ	ナマズ			1																								1				1				
	ボラ	ボラ																											1	1	1	1					
	ウスバカゲロウ	ウスバカゲロウ																				1															
	カマキリ	オオカマキリ																						1													
	カマキリ	コカマキリ																																			
	カマキリ	ハラビロカマキリ																																			
	アオバハゴロモ	アオバハゴロモ																				1															
	イトカメムシ	イトカメムシ																																			
	カスミカメムシ	ズアカシダカスミカメ																											1								
	カメムシ	アオクサカメムシ																												1							
	カメムシ	ウシカメムシ																											1								
	カメムシ	クサギカメムシ																												1							
	カメムシ	チャバネアオカメムシ																												1							
	カメムシ	ナガメ																												1							
	カメムシ	ヒメナガメ			1																									1							
	クヌギカメムシ	ヘラクヌギカメムシ																												1							
	クビナガカメムシ	ヒメクビナガカメムシ																													1						
	アブラムシ	セイタカアワダチソウヒゲナガアブラムシ																													1						
	サシガメ	ピロウドサシガメ			1																										1						
	セミ	アブラゼミ																													1						
	セミ	ツクツクボウシ																					</														

生物種と指標の対応表

補足資料2

[illegible]

生物種と指標の対応表

補足資料2

[illegible]

生き物情報は、以下の調査による。

宮戸特別緑地保全地区(H16)、岡特別緑地保全地区(H16)、朝霞調節池及び周辺(H15~18)、朝霞市基地跡地公園予定地(H15~18)、郷戸特別緑地保全地区(H23)、朝霞市基地跡地公園予定地(H23)、朝霞市基地跡地公園予定地(H25)、新河岸川・黒目川・荒川河川敷及び周辺の斜面林、屋敷林・田畑(調査年不明)、郷戸特別緑地保全地区(H26)、田島(H26)、郷戸特別緑地保全地区(H26)、朝霞調節池(H26)、朝霞第三中学校周辺(H20~26)、新河岸川(H22)、越戸川(H22)、越戸川(H22~24)、黒目川(H22)、黒目川(H22~24)、黒目川(H25)